



社員の安心・安全確保

社員の心と体の健康管理

社員の健康を確保し、明るく活力のあふれた職場づくりを行うには疾病の未然予防や早期発見が重要です。

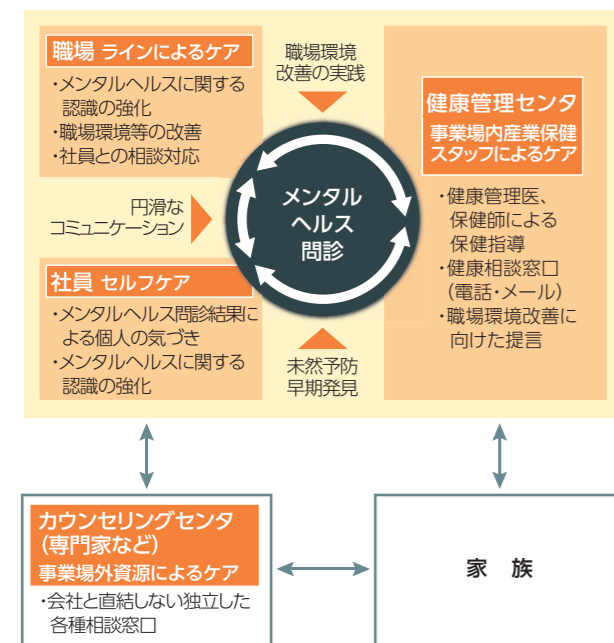
メンタルヘルス対策ならびに各種健康診断や社員個々の疾病に応じた保健指導などの取り組みを推進しています。

社員の健康管理については、法の要請はもとより社内規程に基づき、各種施策を充実して実施しています。健康診断については、循環器系疾患、糖尿病および消化器系疾患などの検査項目を拡充した節目健診、40歳以上の偶数年は多項目健診、40歳での人間ドックと同様の健康診断を実施しています。また、カフェテリアプラン(選択可能な福利厚生メニュー)には人間ドックがメニューに組み込まれており、年齢を問わず全社員が受検しやすい環境を整えています。

メンタルヘルス対策の各種施策については、厚生労働省の指針を踏まえながら積極的に取り組んでおり、セルフケアとして、以前からWebを活用したメンタルヘルス問診を実施しているほか、事業場内産業保健スタッフによる健康相談窓口の設置、面談の実施、事業場外資源によるケアとして、24時間専属のカウンセラーによるカウンセリングセンタの設置により、部内外で相談しやすい環境づくりに努め、疾病の未然予防・早期発見に努めています。

また、心の健康問題により休職した社員に対しては、健

メンタルヘルス対策推進体制イメージ



康管理医と連携した支援体制を確立し、円滑な職場復帰に向け取り組んでいます。

労働災害ゼロをめざして

円滑な事業運営の推進には、職場などにおける労働安全の確保は極めて重要です。

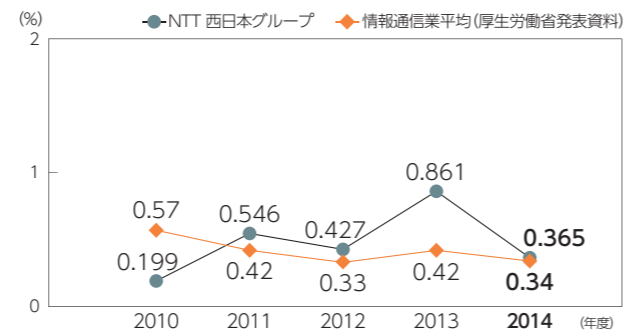
安全労働を第一に、作業現場への安全パトロール、安全点検、安全講習会、各地域単位での安全大会開催や作業環境の改善など、各種安全対策を積極的に実施し、安全意識の醸成、基本動作の徹底に取り組み、事故の未然防止に努めています。

2014年度の労働災害については23件発生しており、主な原因は、転倒などによるものです。これらの未然防止に向けた労働災害についてのタイムリーな情報共有、再発防止に向けた注意喚起を行うなどの各種取り組みを継続的に実施することで、労働災害ゼロをめざします。

連携する通信建設会社の役割も重要との認識のもと、安全確保・事故防止に必要な基本事項について、通信建設会社を含めたNTT西日本グループトータルでの協議、情報共有を行っています。さらに年2回開催される電気通信設備工事安全対策協議会で、現場への浸透を図るため、事故再発防止策に関する議論を行うなど、労働災害根絶に向け、積極的に取り組んでいます。

2015年度の新たな取り組みとして、「初心に帰る」ことを目的に「NTTグループ安全の日(毎月10日)」を定め、過去の類似事故を絶対に起こさないための取り組みを実施しています。継続的な取り組みとして、人身事故情報を現場作業者に確実かつタイムリーに情報配信するとともに、全作業員が過去の事故事例に学び、再発防止策を確認しています。

災害発生度数率の推移



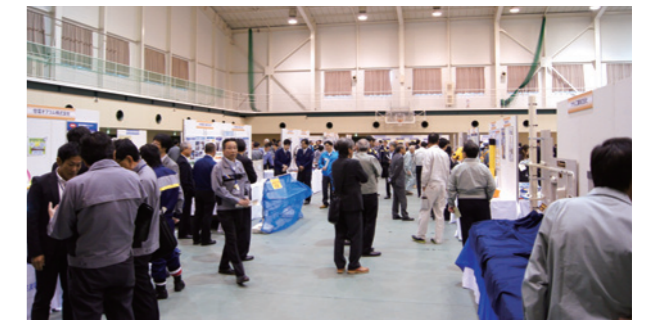
* 度数率:100万延労働時間あたりの労働災害による死傷者数をもって、労働災害の頻度を表したものと

TOPICS 2014

九州地域での「平成26年度 安全推進大会&SKYフォーラム」



開会式の模様



各種安全ツールの展示紹介



電柱強度試験の様相



転落事故再現の様相



通信レスキュー車両の展示



電柱抜柱の実演の様相

労働災害根絶の取り組みの一環として、安全意識の醸成とさらなる安全への取り組みを強化することを目的に各地域単位でNTT西日本グループ会社と通信建設会社が一体となった安全大会を開催しています。

九州地域においては、事故の恐ろしさ・悲惨さを再認識し、「危険感受性の高揚」および「基本動作の徹底」の定着、および九州地域の一体感醸成と連携強化を図ることを目的に「安全推進大会&SKYフォーラム」を毎年開催しています。

2014年度は、「九州地域から痛ましい事故の根絶を図り、安心・安全・信頼の意識向上をめざす」を開催コンセプトに、双方向でのやりとりを交えて「人の深層心理」に訴える安全講話、電柱抜柱、および感電防止対策の実演などを行い、安全作業の重要性について心身両面を感じる有意義な機会となりました。大会スローガンの「安全は自分自身が責任者 初心にもどって“再確認”」のもと、参加者全員で今後も安全作業に努めることを誓い合いました。